

単元名 私たちの消費生活

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性や売買契約の仕組み、消費被害の背景とその対策について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
(2) 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
(3) よりよい生活の実現に向けて、金銭管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

標準的な展開例

15290201_001

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 自分や家族の消費生活を振り返り、学習課題をつかむ。 ★消費者としての自覚をもって、商品を購入しよう。 ○自分や家族の消費生活を振り返る。</p> <p>○消費している商品には、物資とサービスがあることを知る。</p> <p>○契約について知る。</p> <p>2 購入方法と支払方法の特徴について知る。 ★購入方法や支払方法の特徴を知ろう。 ○販売方法の種類を知り、特徴をまとめる。 ・店舗販売 ・無店舗販売 ○商品を購入する際の支払い方法を調べ、特徴をまとめる ・前払い ・即時払い ・後払い</p> <p>3 バランス良く計画的な金銭の管理について知る。 ★計画的な金銭管理の必要性を考えよう。 ○収入と支出のバランスを考える。</p> <p>○クレジットカードと三者間契約について知る。</p> <p>○自分と家族の生活とお金との関わりを考える。</p> <p>4 消費者トラブルとその対策について知る。 ★消費者トラブルに遭わないための方法や対策について考えよう。 ○消費者トラブルの実例を取り上げ、その解決方法について考える。 ○悪質商法の種類や特徴をまとめ、未然に防ぐための対応を考える。 ・悪質な訪問販売 ・キャッチセールス ・アポイントメントセールス ・マルチ商法 ・催眠商法 ○消費者に関わる法律について調べる。 ・消費者契約法 ・製造物責任法（PL法） ・特定商取引に関する法律 ○消費者トラブルに遭ってしまったときにどうしたらよいかを調べる。 ・消費者保護のための相談機関（国民生活センター、消費生活センター） ・消費者を救う制度（クーリング・オフ制度） ○クーリング・オフの通知の仕方を知り、実際に書く。</p> | <p>・自分の消費に使える金銭には限りがあることや優先順位を考えた計画的な支出が必要であることに気付かせる。</p> <p>・朝起きてから登校するまでに消費したものを振り返らせるなどして、自分たちが消費している物の多様性に気付かせる。</p> <p>【評】消費生活を振り返る活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・法律によって保護された約束事であることを確認し、消費者としての自覚をもたせる。</p> <p>【評】売買の契約について確認する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・通信販売や訪問販売については、具体例を挙げ、生徒の関心を高めさせる。</p> <p>・販売方法と関連させて、商品の支払い方法を考えさせたり、サービスにおける支払い方法を考えさせたりするとよい。</p> <p>・具体的な買い物場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考えさせる。</p> <p>【評】購入方法や支払い方法の特徴を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・欲しい商品が本当に必要か、自分や家族の中での優先順位についても考えさせる。</p> <p>・社会とも関連させながら、三者間契約の仕組みや特徴について理解させる。</p> <p>・電気製品の故障など、急で大きな支出が必要になったとき、どのように支出を調整するかまた商品を購入する際に重視する観点について話し合わせる。</p> <p>【評】商品購入に関する話し合い活動を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・中学生に関わりの深いトラブル事例を取り上げて、調べさせる。</p> <p>【評】消費者トラブルに遭わないための対策を考える活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・地域の消費生活センターで調べる活動を取り入れることもできる。</p> <p>・クーリング・オフによる契約の解除は、電話</p> |

| | |
|--|---|
| <p>○ 売買の契約をする際の注意点をまとめる。</p> <p>5 商品の選択と購入のプロセスについて知る。</p> <p>★適切な商品の選択と購入について知ろう。</p> <p>○ 商品を適切に選択，購入する方法について考える。</p> <p>○ 商品を選択するときの情報について話し合う。</p> <p>・ コマーシャル ・ 広告 ・ インターネット</p> <p>・ 口コミ ・ 表示，マーク ・ 販売員の説明</p> <p>○ 商品選択のポイントを押さえ，どのようなことを重視して購入するとよいか話し合う。</p> <p>・ 安全性・機能 ・ 価格</p> <p>・ アフターサービス ・ 環境への配慮</p> <p>○ 商品選択のシミュレーションを行う。</p> | <p>や口頭ではなく，文書で通知し，その際，内容証明郵便で送ることが確実であることを確認する。</p> <p>・ 注意点に対して，具体的な断り方について考えさせる。</p> <p>【評】注意点と具体的な対策について考える活動を通して，「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 意思決定のプロセスを押さえる。</p> <p>・ 多様な商品を提示し，商品を選ぶときのポイントを考えさせる。</p> <p>【評】商品選択ポイントを話し合う活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教科書P.196の意思決定のプロセスを用いて商品購入についてシミュレーションさせる。</p> <p>【評】商品選択のシミュレーション活動を通して，「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> |
|--|---|

【 備 考 】